

(別記様式)

令和7年度 府立丹後緑風高等学校久美浜学舎 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（**計画段階**）・実施段階）

| 学校経営方針（中期経営目標） | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点（短期経営目標） |
|--|---|---|
| <p>1 スクールミッション「アグリサイエンス科・みらいクリエイト科を設置する学舎制高校として、幅広い知識と農業生産・食品加工の専門的な知識・技能を高め、新たな価値を創造し社会に貢献できる人材を育成する。」を教育活動の中に明確に位置づけ、その具現化を図る。</p> <p>2 豊かな人間性と社会人基礎力、丹後を愛しその発展に貢献しようとする姿勢、未来を切り拓く創造力を育成する。</p> <p>3 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。</p> | <p>1 成果</p> <p>(1) 農商連携をはじめ、修学旅行や芸術鑑賞など多くの行事を網野学舎と合同で行い、多くの気付きを得ることができた。</p> <p>(2) 様々な教育活動で地域連携を行い、専門家から地域に根差した活動について深く知ることで、自らの探究活動につながった。</p> <p>(3) 農業クラブの大会に多数参加し、入賞を果たした。</p> <p>(4) 生徒の自主的な活動を支援し、生徒会を中心に自治活動をすすめる機運を高めることができた。</p> <p>(5) 希望進路の実現に向けた個別対応を充実させ、多くの生徒の目標を達成させることができた。</p> <p>(6) 特別支援が必要な生徒について個別の指導計画を作成し、情報を共有できた。</p> <p>(7) 広報紙やSNSの活用を通じて、学校の様子を保護者や中学生に向けてタイムリーな発信が行えた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 授業規律は保たれているが、生徒の学習意欲を向上させる授業改善をさらに進める必要がある。</p> <p>(2) 生徒指導の目線合わせをして、身だしなみの改善を行う。</p> <p>(3) 働き方改革を進めるために、業務の分担を明確にして平準化を進める。</p> <p>(4) 資格取得に向けた取組が大きく振るわなかった。</p> <p>(5) 1・2学期の成績不振科目を抱える生徒数を減らせていない。</p> <p>(6) 生徒募集に向けて、本学舎の強みや学習内容が伝わる取組を実施する。</p> | <p>1 グラデュエーション・ポリシーの具現化に向けた取組の計画的な推進</p> <p>(1) 「はぐくみたい力」を明らかにした指導と評価</p> <p>(2) 「課題研究」と「みらい探究」の充実</p> <p>(3) 自主的に学びに向かわせる授業改善</p> <p>2 学舎制を活かした教育活動の充実</p> <p>(1) 合同部活動・遠隔授業の充実</p> <p>(2) 農商連携の一層の推進</p> <p>(3) 合同行事等の検討・実施</p> <p>3 自己有用感の醸成</p> <p>(1) 生徒会を中心とした自治活動の充実</p> <p>(2) 傾聴を軸とした生徒理解と承認</p> <p>(3) 地域との連携による社会貢献</p> <p>4 広報活動の充実と保護者連携の推進</p> <p>(1) 本学舎の特色・魅力の発信</p> <p>(2) 中高連携による体験活動の充実</p> <p>(3) 保護者との情報共有</p> |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|-----------|---------------------|--|----|-------|
| 組織運営 | 安心・安全・快適な教育環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の安全点検により、危険個所の早期発見・改修に努める。 ・各学科の特色ある教育活動を推進するため、海部Kitchenの改修や探究活動のための整備を行う。 【学校評価アンケートでの施設設備に関する項目の満足度：85%以上】 | | |
| | 教職員の働きやすさと働きがいの向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・分掌ごとに業務を見直し、業務のスクラップや改善を行う。 ・他校や他業種で取り組む施策、好事例を参考に研究・活用を進める。 ・校務用PCの効率的な配置・運用を行う。 【衛生委員会での勤務時間状況で「減った」「少し減った」の回答：30%以上】 | | |
| | 広報活動の充実による志願者数の増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方、中学生とその保護者に対して、適切な時期に学校の特色を発信し、効果的な広報活動を継続して行う。 【志願者数、昨年度比1.2倍】 | | |
| | 学舎間での生徒合同による教育活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・網野学舎と連携し、計画的に遠隔合同授業を実施する。 ・学舎間連携や小規模校の活性化に向けた遠隔システム活用の在り方等について研究を行う。 【遠隔担当者会議の実施：4回/年】 【学舎間連携行事の充実：10回/年】 | | |
| 家庭・地域との連携 | 地域連携による教育活動充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動（実習、探究活動、課題研究、部活動、ボランティア活動等）において、地域や大学・専門学校、福祉施設等との連携を進める。 【年間の取組実施：30回以上】 | | |
| | 保護者への情報発信の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・HP、学舎だより、さくら連絡網、インスタグラムを有効に活用して保護者の教育活動への理解を進める。 【学校評価アンケート：満足度70%以上】 | | |

| | | | | | |
|---|-------------------------|---|--|--|--|
| 学習指導 | 授業規律の確立「時を守り、場を清め、礼を正す」 | <ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り、場を清め、礼を正す」をキーワードに授業規律と教室の整理整頓の指導を行う。 【生徒アンケート「授業規律」に対する回答平均：3.5以上（4段階評価）】 | | | |
| | 個に応じた指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・互見授業により、「解かる授業」のための授業改善を行う。 ・ICT機器、学校図書館、新聞等の活用、探究的手法の導入等の研究を行う。 【授業参観：1人3回以上】 【生徒アンケート「授業が解かる」に対する回答平均：3.5以上（4段階評価）】 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の学力の応じた指導を行うとともに、検定試験を活用し、学習意欲を高める。 【各種検定の受験者数：のべ20人以上】 【生徒アンケートでの「力の伸びの実感」に対する回答平均：3.5以上（4段階評価）】 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習に課題を持つ生徒、前年度不認定科目を持つ生徒へ計画的にいていねいな指導を行う。 【学年末で不認定科目を抱える生徒の割合：10%以下】 【不認定科目の追認考査で年度内合格：100%】 | | | |
| | 専門学科の特色に応じた学習活動・探究活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にすることで、基礎的な専門知識や技術の習得を図る。 ・生徒の実態に合わせて必要な時期に社会人講師を活用する。 【関連資格取得生徒数：のべ20名以上】 【社会人講師活用授業：年間各学年2回以上】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校農業クラブ活動を活性化し、各種競技会・講習会に積極的に参加する。 【各種競技会入賞：5名以上】 | | | | | |

| | | | | | | |
|------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|
| 生徒指導 | 安心・安全な学校生活のための規範意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の一貫した指導により社会的マナーや規範意識の向上を図る。 【学校評価アンケート「社会的なマナー、規範意識に関する生徒自己評価についての肯定的な回答：80%以上】 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒間の困りごとに対して、早期発見・早期対応できるように教員間の連携を密にし、生徒の実態に迫る指導を行う。 【学校評価アンケート「学校生活への安心度：80%以上】 | | | | |
| | 特別活動の充実とボランティア活動への参加による自己肯定感・自己有用感の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別活動を活性化させ、行事等を生徒主体で計画・運営できるようにする。 【生徒会本部役員会：10回以上】 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に積極的に参加し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。 【「ボランティア活動参加満足度」：80%以上】 | | | | |
| 進路指導 | 希望進路の実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見据えた進路実現プラン「未来への架け橋」を学年部と進路指導部と関係各部で連携して、計画的に実行する。 【各学期の計画実施率：100%】 【学校評価アンケートでの進路指導に対する満足度：80%以上】 | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査や面談を通して得た情報を確実に共有して、目標達成のために必要な指導計画を立てる。（講習・対策講座計画、模擬試験受験、出願・受験指導等） ・生徒の適性等もふまえながら、十分な進路検討を行う。 【進路検討会議：各学年2回以上実施】 【チューター面談：5回実施】 【定期的な進路指導部面談実施】 | | | | |

| | | | | | |
|--|-------------------|---|--|--|--|
| 健康安全指導 | 健康で安全な生活を営む力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活実態を調査し、その結果をもとに保健指導を行う。 【1学期に実施】 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 簡単なトレーニングを紹介し、学校生活の中で大きな怪我や事故を防ぐ。 【基礎体力向上のための取組：年3回】 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 食生活に関心を持たせ、正しい知識と、よりよい食を選ぶ力を身に付けさせる。 【お弁当DAYの実施：年3回】 | | | |
| | 組織的な指導体制構築と指導力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的な会議の実施による生徒の情報の共有。 【教育相談会議・特別支援教育推進会議の実施：年6回】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 自分自身を理解させ、社会性を身に付けさせる。 【自己理解チェックリストの作成と実施】 | | | | | |
| 人権教育 | 教員の人権意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員研修など通じて、多様性を尊重した共生社会における高い人権意識を養う。 【教職員研修：1回実施】 | | | |
| | 生徒の人権意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 自己有用感・コミュニケーション能力、基本的人権、主体的に生きる社会人に向けての人権学習を実施し、互いを尊重し、いじめを許さない雰囲気を作り、安心して通える学校作りをする。 【各学年で年1回人権学習HR等を実施】 | | | |